

# 2024年3月期第1四半期 決算補足説明資料

---

京浜急行電鉄株式会社（証券コード：9006）

2023年8月4日

<https://www.keikyu.co.jp>

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 2
II. 2024年3月期 第1四半期決算実績	P. 4
III. 2024年3月期 業績予想（一部再掲）	P. 17

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 2
II. 2024年3月期 第1四半期決算実績	P. 4
III. 2024年3月期 業績予想（一部再掲）	P. 17

## 対前年同期（2022年度 1Q）

- 交通およびレジャー・サービス事業を中心に回復傾向が続き、**増収増益**

鉄道運輸収入	<b>+10.7%</b>	バス営業収益	<b>+8.0%</b>	ビジネスホテル稼働率	<b>+5.3pt</b>
--------	---------------	--------	--------------	------------	---------------

## 対コロナ前（2018年度 1Q）

- 新型コロナウイルス感染症による影響は縮小しているものの、**大幅減収減益**

鉄道運輸収入	<b>△14.0%</b>	バス営業収益	<b>△17.4%</b>	ビジネスホテル稼働率	<b>△14.3pt</b>
--------	---------------	--------	---------------	------------	----------------

## 業績予想に対する進捗・見通し

1Q実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道運輸収入、ビジネスホテルの稼働率は<u>概ね想定どおり進捗</u></li> <li>ビジネスホテルの客室単価は、<u>想定を上回って推移</u></li> </ul>
通期見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部事業で想定を上回って推移しているものの、事業全体の推移は概ね想定範囲内であるため、<u>業績予想は据え置き</u></li> </ul>

I. エグゼクティブ・サマリー P. 2

II. 2024年3月期 第1四半期決算実績 P. 4

III. 2024年3月期 業績予想（一部再掲） P. 17

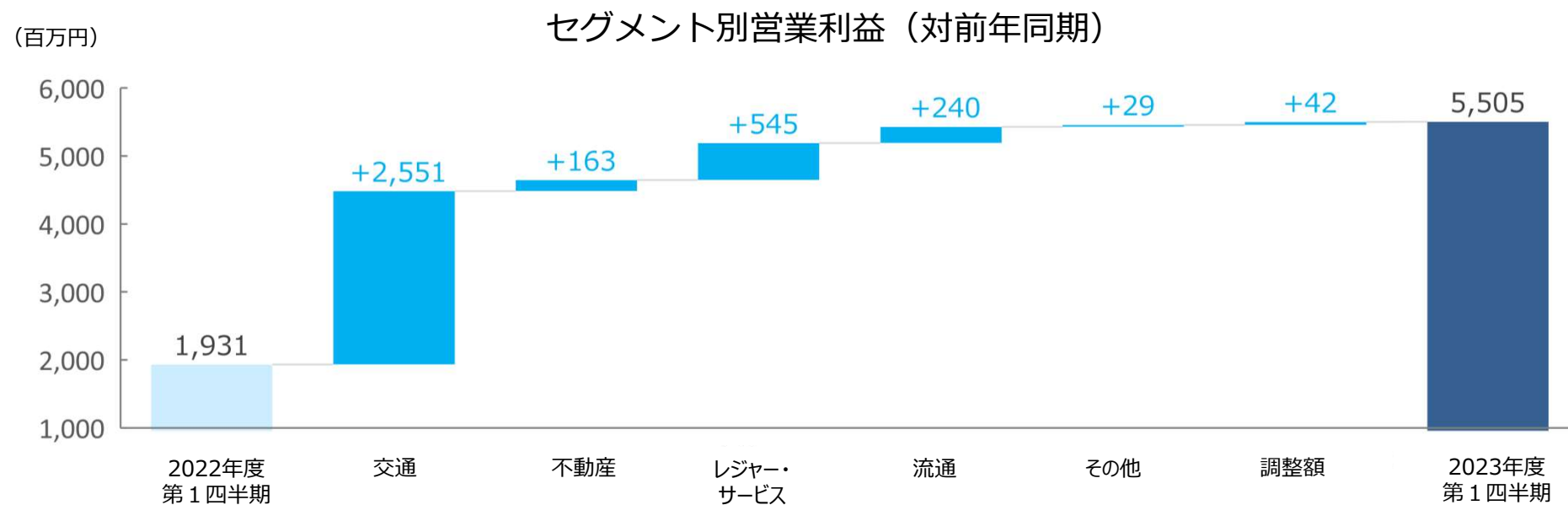
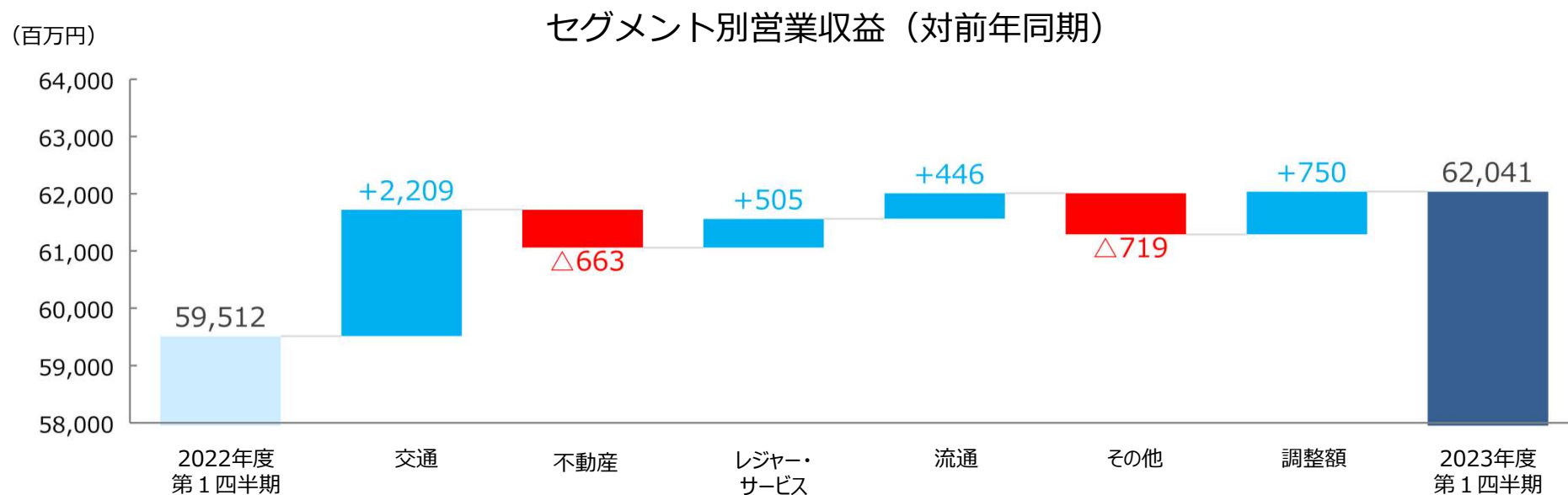
鉄道事業が営業収益・営業利益をけん引し、増収増益となったが、前年同期にバスの営業所等の売却益を計上した反動により、四半期純利益は減益となった。

(単位：百万円)	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減額	増減率
営業収益	59,512	62,041	+2,529	+4.2%
営業利益	1,931	5,505	+3,573	+185.0%
経常利益	1,743	5,408	+3,665	+210.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,343	3,721	△ 4,621	△ 55.4%
1株当たり 四半期純利益	30.31円	13.52円	△ 16.79円	

# 連結決算実績（セグメント別）

(単位：百万円)		2022年度 1 Q実績	2023年度 1 Q実績	増減額	増減率
交通事業	営業収益	24,231	26,441	+2,209	+9.1%
	営業利益	△201	2,349	+2,551	－%
不動産事業	営業収益	10,482	9,818	△663	△ 6.3%
	営業利益	1,277	1,441	+163	+12.8%
レジャー・ サービス事業	営業収益	6,697	7,202	+505	+7.5%
	営業利益	648	1,193	+545	+84.1%
流通事業	営業収益	17,182	17,628	+446	+2.6%
	営業利益	267	508	+240	+90.1%
その他	営業収益	7,311	6,592	△719	△ 9.8%
	営業利益	△168	△138	+29	－%

# セグメント別営業収益・営業利益の増減





単位：百万円	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減額	増減率	主な増減理由
営業収益	24,231	26,441	+2,209	+9.1%	<b>鉄道事業：</b> 定期外収入・羽田空港輸送人員の増 人件費 △3億円（対前年同期） 電気動力費 +1億円（対前年同期）  <b>バス事業：</b> 空港・中距離路線収入の増
鉄道事業	16,724	18,376	+1,652	+9.9%	
バス事業	6,618	7,150	+532	+8.0%	
タクシー事業	888	913	+25	+2.9%	
営業利益	△ 201	2,349	+2,551	- %	
鉄道事業	283	2,212	+1,929	+681.6%	
バス事業	△ 464	158	+623	- %	
タクシー事業	△ 20	△ 21	△ 0	- %	

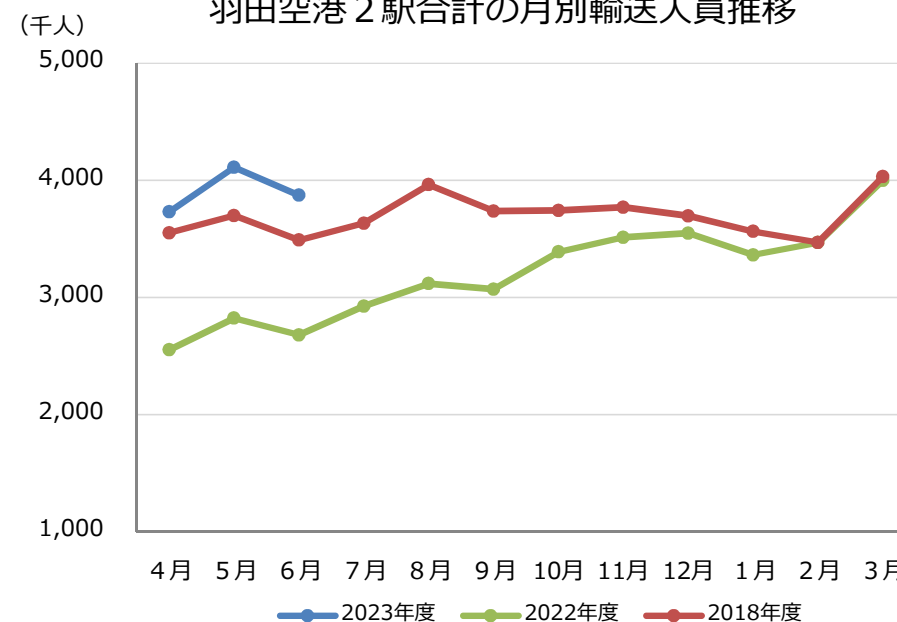
## <鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

	輸送人員 (千人)				旅客運輸収入 (百万円)			
	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減数	増減率	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減額	増減率
定期	54,955	57,275	+2,320	+4.2%	6,159	6,434	+275	+4.5%
定期外	46,085	52,202	+6,117	+13.3%	9,935	11,379	+1,444	+14.5%
合計	101,040	109,477	+8,437	+8.4%	16,095	17,814	+1,719	+10.7%

## <羽田空港 2 駅の輸送人員>

	輸送人員 (千人)			
	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減数	増減率
第1・第2ターミナル (国内線)	7,130	9,034	+1,904	+26.7%
第3ターミナル (国際線)	928	2,683	+1,755	+189.1%
合計	8,058	11,717	+3,659	+45.4%

羽田空港 2 駅合計の月別輸送人員推移



単位：百万円	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減額	増減率	主な増減理由
営業収益	10,482	9,818	△663	△6.3%	<b>不動産販売業：</b> マンション分譲：105戸（対前年同期△9戸） 分譲マンションの売上が減少したことなどによる減  <b>不動産賃貸業：</b> 賃貸オフィスビルの賃料収入の増
不動産販売業	5,991	5,126	△865	△14.4%	
不動産賃貸業	4,491	4,692	+201	+4.5%	
営業利益	1,277	1,441	+163	+12.8%	<b>不動産販売業：</b> 分譲マンション販売および賃貸マンション売却 などによる粗利増
不動産販売業	△115	47	+162	-%	
不動産賃貸業	1,392	1,393	+0	+0.1%	

<2023年度主な引渡し物件>

(単位：戸)	総戸数	引渡し開始時期 (予定)
プライム横浜井土ヶ谷	95	2023年11月
プレミアムレジデンス横須賀中央	184	2024年2月
プライム川崎	199	2024年3月
プライムフィット横浜富岡	64	2024年3月

単位：百万円	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減額	増減率	主な増減理由
営業収益	6,697	7,202	+505	+7.5%	<b>ビジネスホテル業：</b> 稼働率・客室単価上昇による増  <b>レジャー関連施設業：</b> 観音崎京急ホテルの営業終了（2022年9月末）による減
ビジネスホテル業	1,224	1,927	+702	+57.4%	
レジャー関連施設業	3,119	2,990	△129	△4.1%	
レジャーその他	2,352	2,284	△68	△2.9%	
営業利益	648	1,193	+545	+84.1%	
ビジネスホテル業	△214	389	+603	-%	
レジャー関連施設業	803	557	△246	△30.6%	
レジャーその他	58	246	+187	+319.4%	

## 京急EXホテル・京急EXイン客室稼働率

	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減数		2023年 3月末	2023年 6月末
稼働率	74.2%	79.5%	+5.3pt	客室数（室）	2,236	2,236

※2022年度でホテル4館を閉館、2館を開業。

（閉館：浅草橋駅前、羽田・穴守稻荷駅前、大森海岸駅前、品川・泉岳寺駅前）  
（開業：京急蒲田駅前、札幌）

単位：百万円	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減額	増減率	主な増減理由
営業収益	17,182	17,628	+446	+2.6%	<b>百貨店業・SC業：</b> リニューアルに伴う一部区画の休業などによる減  <b>スーパーマーケット業：</b> 人流回復に伴う既存店売上の増加などによる増
百貨店・SC業	4,139	3,927	△211	△5.1%	
百貨店業	3,141	3,023	△117	△3.7%	
S C 業	997	903	△94	△9.4%	
ストア業	13,042	13,701	+658	+5.0%	
スーパーマーケット業	10,004	10,280	+276	+2.8%	
コンビニ・物販業ほか	3,038	3,420	+382	+12.6%	
営業利益	267	508	+240	+90.1%	<b>百貨店業・SC業：</b> 大型専門店誘致と合わせた業務効率化や コスト削減などによる増
百貨店・SC業	184	208	+23	+12.9%	
百貨店業	89	109	+20	+22.4%	
S C 業	95	98	+3	+4.0%	
ストア業	82	299	+216	+262.4%	
スーパーマーケット業	△50	83	+133	-%	
コンビニ・物販業ほか	133	216	+82	+62.3%	

単位：百万円	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減額	増減率	主な増減理由
営業収益	7,311	6,592	△719	△9.8%	完成工事の減少による減
営業利益	△168	△138	+29	-%	

# 2022・2023年度連結決算実績（四半期別）

(単位：百万円)		2022年度				2023年度
		1Q (4月～6月)	2Q (7月～9月)	3Q (10月～12月)	4Q (1月～3月)	1Q (4月～6月)
交通事業	営業収益	24,231	24,094	25,389	25,085	26,441
	営業利益	△201	1,060	484	△2,051	2,349
不動産事業	営業収益	10,482	11,635	13,765	14,681	9,818
	営業利益	1,277	1,641	2,094	1,554	1,441
レジャー・サービス事業	営業収益	6,697	6,634	6,949	7,106	7,202
	営業利益	648	268	654	545	1,193
流通事業	営業収益	17,182	17,423	18,625	17,218	17,628
	営業利益	267	178	488	115	508
その他	営業収益	7,311	8,888	9,497	17,939	6,592
	営業利益	△168	292	163	1,719	△138
営業収益		59,512	60,883	65,803	66,806	62,041
営業利益		1,931	3,548	3,972	1,366	5,505
経常利益		1,743	2,891	5,119	2,479	5,408
親会社株主に帰属する当期純利益		8,343	4,186	3,147	140	3,721
鉄道旅客運輸収入	定期	6,159	6,108	6,023	6,001	6,434
	定期外	9,935	9,905	10,919	10,942	11,379
	合計	16,095	16,013	16,943	16,944	17,814

# 営業外・特別損益

(単位：百万円)	2022年度 1Q実績	2023年度 1Q実績	増減額	主な内訳
営業外収益	877	916	+38	助成金収入 295 (対前年同期 +196) 投資有価証券売却益 - (対前年同期 △62)
営業外費用	1,066	1,014	△52	
特別利益	10,223	51	△10,171	固定資産売却益 12 (対前年同期 △9,466) ※
特別損失	782	113	△668	

※ 2022年度1Q：京浜急行バス営業所、ビジネスホテル2館売却



# 連結貸借対照表（概要）

(単位：百万円)	2023年3月末	2023年6月末	増減額
流動資産	134,727	116,187	△18,540
現金及び預金	57,119	38,791	△18,328
分譲土地建物	54,802	54,478	△323
固定資産	800,692	805,075	+4,383
有形固定資産	644,786	645,738	+951
投資その他の資産	147,605	151,036	+3,430
投資有価証券	84,591	88,411	+3,819
<b>資産合計</b>	<b>935,420</b>	<b>921,262</b>	<b>△14,157</b>
負債合計	661,968	642,820	△19,147
有利子負債残高※	487,450	470,171	△17,278
純資産合計	273,452	278,442	+4,990
<b>負債純資産合計</b>	<b>935,420</b>	<b>921,262</b>	<b>△14,157</b>
※社債、借入金の合計額			
純有利子負債残高	430,330	431,380	+1,049
自己資本比率	29.0%	30.0%	+1.0pt

I. エグゼクティブ・サマリー	P. 2
II. 2024年3月期 第1四半期決算実績	P. 4
III. 2024年3月期 業績予想（一部再掲）	P. 17

新型コロナウイルス感染症の影響による行動自粛・各種制限等はおおむね収束し、  
2023年度はアフターコロナにおける定常化した事業環境にあるものとして策定

※ただし、事業によっては、コロナ影響からの回復が遅れること、社会環境や生活様式の変化により定常化の水準がコロナ以前とは異なることも想定

※羽田空港旅客数については、国内線は2023年4月、国際線は2023年10月以降にコロナ前水準に回復

※再度の緊急事態宣言発令や行動自粛要請がないことを前提とする

※国際情勢等の影響による動力費・光熱費の上昇傾向を各事業において織り込む

交通事業	鉄道事業	2023年度運輸収入は、対コロナ前 上期：△15%、下期：△8%、通期：△11%
	バス事業	営業収益は、対コロナ前 通期：△17%
不動産事業	不動産賃貸業	平常時同様と想定
レジャー・サービス事業	ビジネスホテル業	稼働率 通期：約80%（対コロナ前 約△13pt）
流通事業	百貨店・SC業	需要は徐々に回復
	スーパーマーケット業	商品値上げに伴う買上点数減などにより 平常時より下回る想定
	コンビニ・物販業ほか	鉄道輸送人員回復に伴い、駅ナカ店舗を中心に回復

(単位：億円)	2022年度	2023年度	増減額
営業収益	2,530	2,963	+432
営業利益	108	230	+121
経常利益	122	200	+77
親会社株主に帰属する 当期純利益	158	170	+11

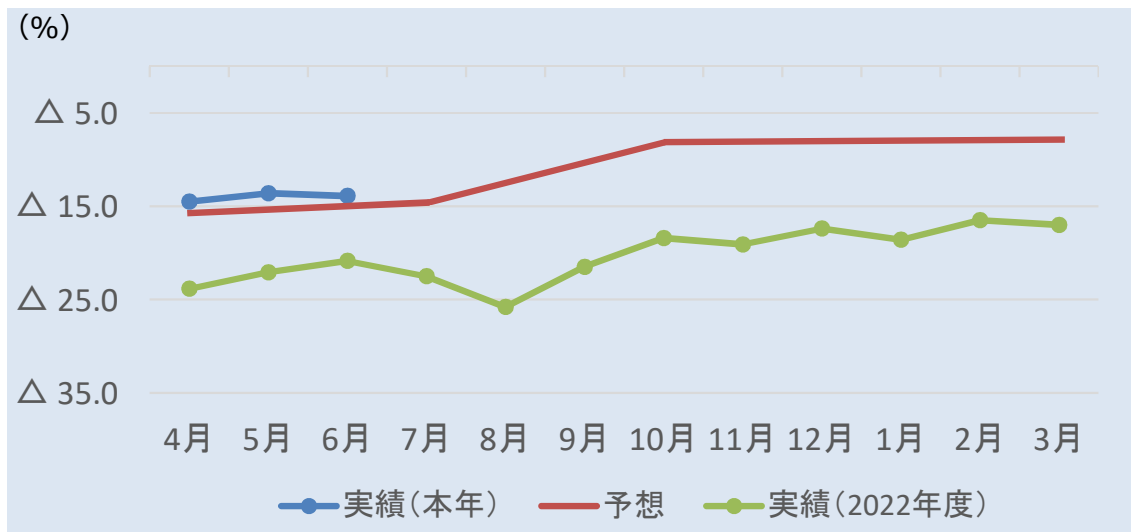
(単位：億円)	2022年度	2023年度	増減額
設備投資額 ※ (うち、不動産流動化SPC出資)	667 (80)	1,317 (134)	+650 (+53)
減価償却費	283	285	+2
1株当たり 当期純利益	57.46円	61.76円	+4.30円

※ 工事負担金等（2022年度92億円、2023年度111億円）を含む

(単位：億円)		2022年度	2023年度	増減額
交通事業	営業収益	988	1,087	+99
	営業利益	△7	82	+89
不動産事業	営業収益	505	812	+306
	営業利益	65	97	+31
レジャー・サービス事業	営業収益	273	283	+9
	営業利益	21	26	+4
流通事業	営業収益	704	697	△7
	営業利益	10	8	△2
その他	営業収益	436	467	+30
	営業利益	20	16	△4

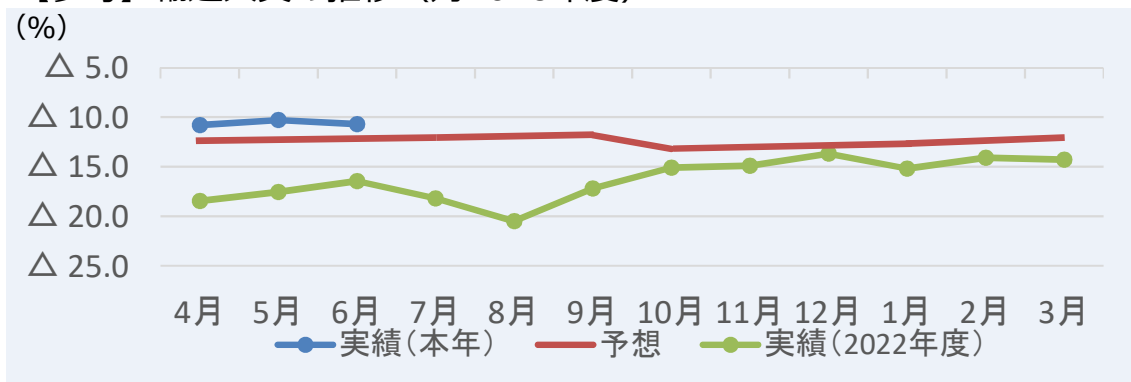
## ◆鉄道事業

＜運輸収入の推移（対2018年度）＞



	2023年度 上期予想	2023年度 下期予想	2023年度 通期予想
定期	△23%	△16%	△19%
定期外	△10%	△3%	△6%
合計	△15%	△8%	△11%

【参考】輸送人員の推移（対2018年度）

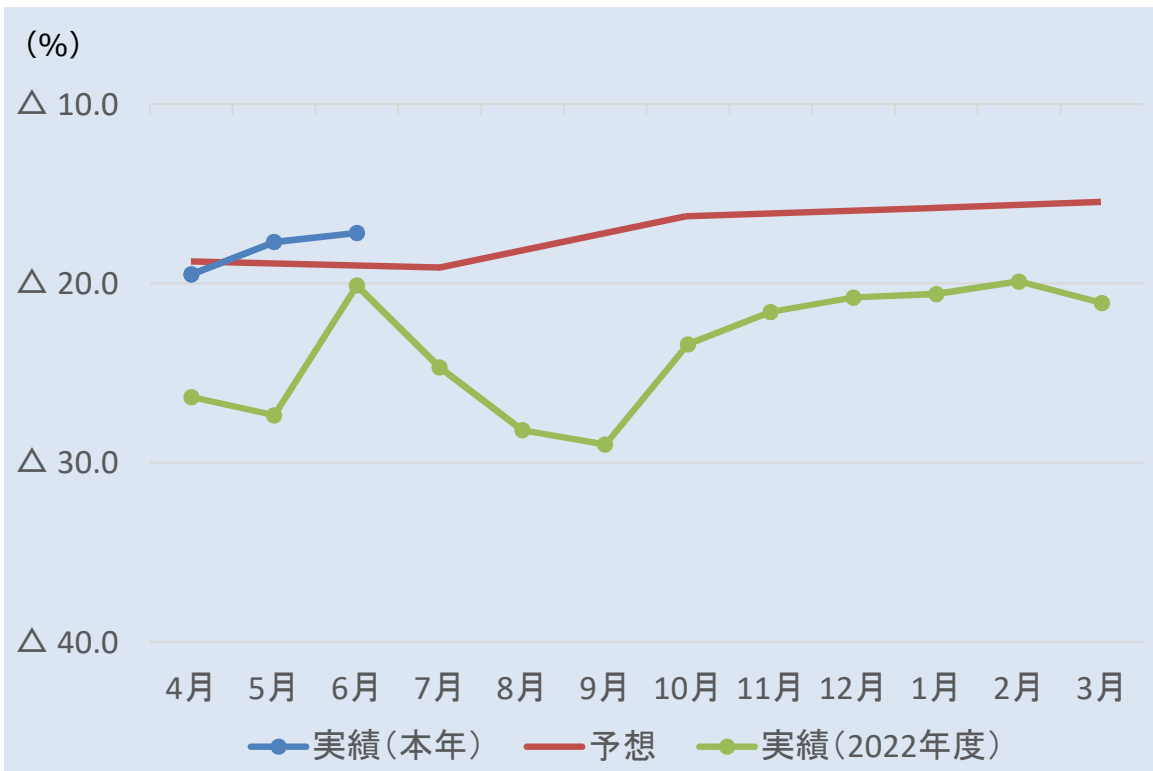


### 【7月速報（利用者数）】

- 自動改札機通過人員ベースでは、対2018年度約△11%減（対前年約+11%増）、羽田空港2駅は対2018年度約+8%増（対前年約+32%増）で推移
- よって、対予想では輸送人員は概ね想定どおりとなる見込

## ◆バス事業

<営業収益の推移（対2018年度）>



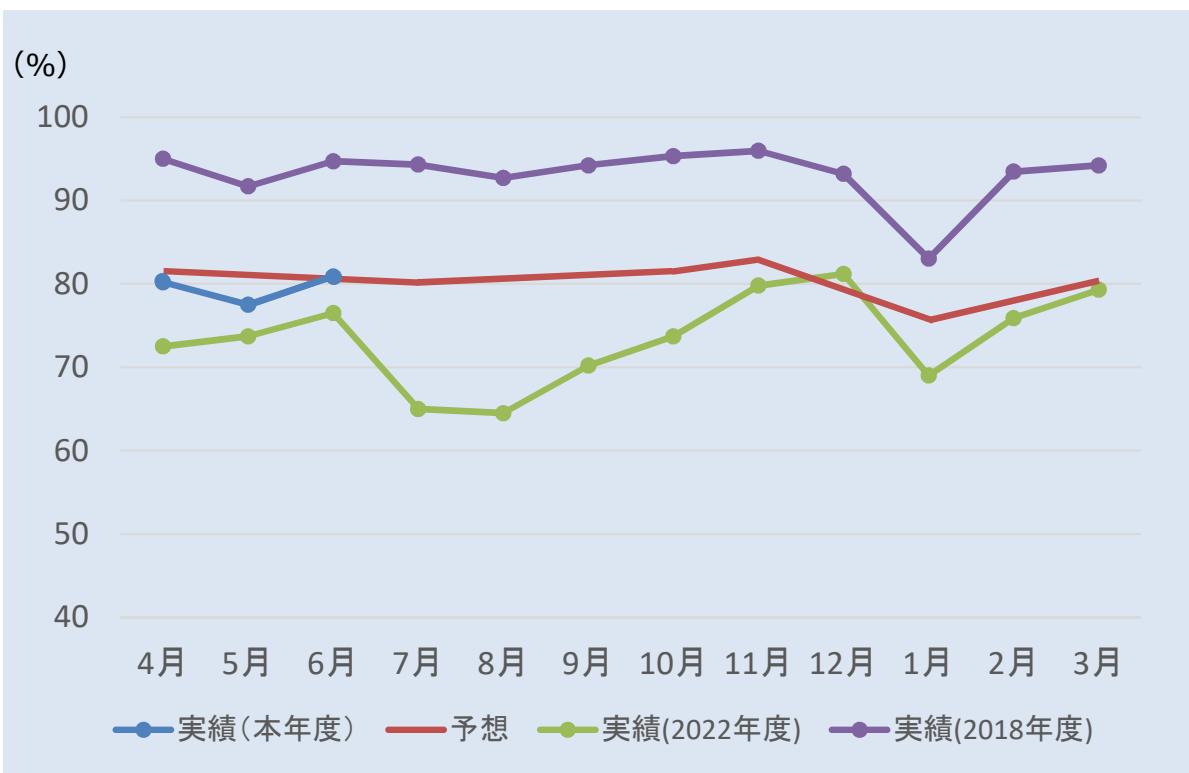
	2023年度 上期予想	2023年度 下期予想	2023年度 通期予想
営業収益	△18%	△15%	△17%

### 【7月速報（取扱高）】

- 速報集計ベースは2023年6月と同程度の水準で推移
- 対予想では概ね想定どおりのペース

## ◆ビジネスホテル業

＜稼働率の推移＞



	2023年度 上期予想	2023年度 下期予想	2023年度 通期予想
稼働率	80%	80%	80%

### 【7月速報（稼働率）】

- 稼働率は80%超で推移
- 対予想では概ね想定どおりのペース





**【ご注意】**

この資料に記載の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、発表時点において想定した各種前提条件を基に作成しております。こうした記載情報は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含むものです。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**【お問い合わせ先】**

経営戦略室 I R 担当

Tel 045-225-9392

E-mail [ir-keikyu\\_t7z@keikyu-group.jp](mailto:ir-keikyu_t7z@keikyu-group.jp)